



～いよいよ勝負の時！最後まで、全力で頑張ろう！～

1学期前半も無事に終了し、今日から6月に突入です！この2ヶ月間で、様々な活動や行事を通して、たくさんの学びがありましたね。1人1人の成長と、最終学年として集団が大きく伸びようとしている姿に、心から喜びを感じています。また、5月24日に行われた校内マラソン大会では、3年ぶりではありましたが、苦しくても、まっすぐ前を向き、ゴールに向かってあきらめず走る姿が、とてもかっこよくて感動の連続でした。素敵な1日をどうもありがとうございます！

さあ、次は加賀地区大会！わずかな時しか残されていませんが、この期間が、また人として大きく成長すると感じています。実カテストもあり、大変ではありますが、今まで頑張ってきたことを全て出し切るために・・・最後の頑張りを見せて欲しいと願っています。

【令和4年度校内マラソン大会 結果】

	男子	記録	女子	記録
1位	網 蒼太郎	13'39"59	齋藤 菜奈	10'20"17
2位	一瀬 日向	13'40"41	岩井 彩菜	10'21"10
3位	金木 晃大	14'04"86	赤池 正夏	10'48"66
4位	五十村 陸	14'07"05	岩崎 朱里	10'58"42
5位	土田 拳	14'21"72	高田 結衣	11'19"11
6位	荒井 秋政	14'42"02	谷口 優奏	11'24"22
7位	中村 頼透	14'45"40	小出 空和	11'32"60
8位	豊島 侑眞	14'48"79	熊倉 怜美	11'32"94
9位	道中 優太	14'49"61	高木 羽依	11'33"23
10位	小山 大耀	14'59"24	益田 純	11'42"81



《5月24日 マラソン大会感想より》

マラソン大会をむかえるまでの練習では、約1年ぶりの5周走だったり、毎回の練習がとてもきつかったけど、1回1回の練習で前回を超えていけたことは、体力的にも気持ち面でも大きく成長できたと思う。自分のペースを見つけて、あと少しだけでも頑張ることができてよかった。そして、今日のマラソン大会では、目標の順位には後1歩届かず、悔しい思いが強いけど、いつもの何倍もきつかったことを考えると、前の自分なら歩いてしまっているような所も、前の人を抜かそうと思ってあと少しと、走ることができたのは、練習で身につけた力が生きたと思うと嬉しかった。マラソンで身につけた力は、受験でも活用できると思う。他の人たちがどんどん速いペースで勉強しておいて行かれそうでも、自分のペースで自分を励ましながらか勉強すれば、きっと今回とは違う合格というゴールテープを切ることができるはずだと思う。けが無く安全にゴールすることができてよかった。これからは何事もあと少し頑張ってみようと思って、挑戦していけたらいいと思う。

1組 高田のぞみ

マラソン大会当日は、とても天気が良く暑かった。マラソン大会の注意で言われたように、他のクラス席へ行かないなどのルールを守ることができて良かったです。1年生女子からマラソン大会が始まり、しっかりと走っている人を応援することができて良かったです。そして、3年生の男子の出番がやってきて、「パンッ」という音と同時に走り出した。最初は前の人について行くことが必死だったけど、徐々に慣れてきて、良いポジションで走ることができた。3周目はとてもきつくて、何度も歩こうと思ったが、諦めないで最後まで走ることができた。3周目でスタジアムに入っていた時は、拍手が聞こえて最後まで頑張れた。結果は思ったよりも高くて、「16位」でした。中学校で初めて最後のマラソン大会を楽しむことができた。

2組 浅香 厚明

初めてのマラソン大会でちゃんと走りきれるか不安だったけど、最後まで諦めずできてよかったです。私は、今日「応援」の力を強く感じました。マラソン大会は、体育の時の5周走より距離が長く、更に日差しと暑さで体力を削られました。ですが、不思議と5周走より疲労感はありませんでした。これは、ベンチで座っていた人達が応援してくれたからだと思います。「がんばれ」という4文字の言葉が、応援している人とされている人を、つないでくれているんだと感じました。だから、自分も応援しようと思っていつもより大きな声を出すことができました。これからくじけそうなときは、自分を応援しながら、誰かが辛そうなときは、自分が応援して周りの人の気持ちを少しでも軽くできる人になりたいです。ただ、自分が走り終わった後の行動が自分中心で良くなかったです。高い判断基準で行動していきます。最初は嫌だなと思っていたけどすごく楽しい大会になりました。他のこともマラソンみたいに最後まで諦めず取り組んでいきます。

3組 多田 穂香

まずは、マラソン大会で、諦めずに最後まで走り切れて本当に良かったです！特に、2周目の後半、辛くてペースを落としてしまったけれど、歩かずに行けたし、最後の直線で疲れていたけど、力を振り絞って全力ダッシュできて、やりきった感がでたので良かったです。自分も真剣に取り組めたし、みんなの応援で最後まで諦めず走れたので、順位は中間くらいだったけれど、自分の中では、最高の走りができたのではないかなと思います。そして、周りのみんなと一緒に他の学年や男子の応援を全力でできたのも良かったなと思いました。特に、一番盛り上がったのは、3年男子で1位争いのところは、声がかれるほど叫びました（笑）友達といっぱい声をだして、最後まで応援したのも、とても良い思い出になったと思います！昨日まで、というか走る寸前までは、とても走るのが嫌だったし、走っている途中で歩いてしまおうかなと、思うくらい疲れたけど、走りきった後は、達成感がすごくありました。今日のマラソン大会で良い思い出が沢山できて、本当にマラソン大会があって良かったと思いました。

4組 高井 茉桜



マラソン大会の前に、練習として7周走を走った。その時は、学年で1番速いタイムを出すことができ、マラソン大会で1位を狙えるとみんなに言われた。実際、自分も1位になれるかなと思っていた。今思うと、その気持ちがあったから、残念な結果になってしまったんだと思う。もう1つ残念な結果になった理由がある。それは、自分に甘かったところだ。自分の作戦としては、1周目は、1位を狙わず、5位くらいにいて体力を残し、3周目らへんで、一気に1位になり、独走する予定だった。しかし、3周目は思った以上にきつかった。それでも、何とか1位になることができた。2位の人に少し差をつけることができた。そこまでは、予定通りだった。最後の直線で僕は1位を確信していた。そこが自分の悪いところだと分っていたにもかかわらず、そういう気持ちになってしまった。ゴールテープをきる瞬間、抜かされた。結果は2位。絶対に抜かされないぞと思いながらラストスパートをかけていたら、結果は変わっていたと思う。もう絶対に自分に甘くしない。それがマラソン大会で学んだことだ。

5組 一瀬 日向